

令和8年2月1日

各位

公益社団法人千葉県LPGガス協会

県議会におけるLPGガスに関する一般質問について（情報提供）

平素より大変お世話になっております。

さて、先般12月に開催された県議会において、伊藤昌弘県議よりLPGガスに関する一般質問が行われました。

つきましては、当該質問内容及び答弁の概要について、別紙にて情報提供いたしますので、ご確認くださいますようお願い申し上げます。

以上

伊藤まさひろ県議会リポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

避難所でLPガス活用を

12月県議会一般質問

伊藤議員 東日本大震災の時には長期間、広範囲に都市ガス・電気が遮断され、避難所はあるものの、避難所の役割りを果たせず、そこで生活は非常に困難を極める状態だったことは周知の事実であった。

現在、学校の体育館の空調設備の早期実施が進みつある災害時に避難所となる体育馆の空調設備を導入すれば、災害時において送電線の切断や都市ガスラインの破損などの状況下においても十分に力発生しており、ライフラインを発揮できることなどから



県の施策を質問する伊藤昌弘県議

佐倉、酒々井を夢のあるまちに、議員活動に全力を挙げている伊藤昌弘議員(5期)は12月定例県議会で登壇し、避難所でのLPガス活用、浄化槽の法定検査、介護人材の不足問題などについて知事ら県執行部に質問しました。災害で電気や都市ガスがストップした避難所では寒さや暑さへの我慢が強いられます。伊藤県議は、LPガスの冷暖房設備を避難所として利用される体育馆などに備えておけば問題は解決するとして、県に整備を提案しました。

災害時の発電や冷暖房に

伊藤議員 停電や都市ガスの供給途経に備え、避難所にLPガスで稼動する空調設備とともに、燃料を確保するための災害バルク供給設備を進めるべきと考えるがどうか。

防災危機管理部長 避難所にLPガスを活用する資機材や燃料を保管・供給するための設備を設置するこそは、被災者の良好な生活環境を確保する上で有効な手段のひとつと考えております。

伊藤まさひろ・PROFILE

略歴

- 昭和30年 佐倉市に生まれる
- 昭和53年 日本大学法学部卒業
- 平成7年 佐倉市議会議員当選
- 平成11年 佐倉市議会議員再選
- 平成19年 千葉県議会議員当選
- 平成23年 千葉県議会議員再選
- 平成27年 千葉県議会議員3選
- 平成31年 千葉県議会議員4選
- 令和5年 千葉県議会議員5選

現職

- 印旛沼水質保全協議会 顧問
- 農政審議会 委員
- 佐倉リトルシニア野球協会 会長

再質問

伊藤議員 停電や都市ガスの供給途経に備え、避難所にLPガスで稼動する空調設備とともに、燃料を確保するための災害バルク供給設備を進めるべきと考えるがどうか。

防災危機管理部長 避難所にLPガスを活用する資機材や燃料を保管・供給するための設備を設置するこそは、被災者の良好な生活環境を確保する上で有効な手段のひとつと考えております。

伊藤議員 学校の体育館は、避難所に指定されているところが多く、LPガスによる空調設備で整備すれば、災害時ににおいて避難所が冷房も暖房も効き、明かりがともり、お湯が沸かせ、温かい食事が提供できる。さらにスマホも充電できるという状況が、一定期間可能な、そんな避難所にすることができる。

伊藤議員 県としては、避難所において送電線の切断や都市ガスラインの破損などの状況下においても十分に力発揮できることなどから、市町村に情報を提供することができる。ぜひ県においても設置

被災者の良好な生活確保

国の大規模な工事に工エネルギー供給の最後の砦」と位置付けられている。そこでうかがうが、避難所に、LPガスを燃料とす

国の大規模な工事に工エネルギー供給の最後の砦」と位置付けられている。そこでうかがうが、避難所に、LPガスを燃料とす

る非常用発電設備や冷暖房設備などの整備を進めるべきと考えるがどうか。

防災危機管理部長 LPガスは、長期間の保管でも品質が劣化しづらく、また、ガスボンベにより短い配管で家庭などに供給されるため災害時にも復旧が比較的早いなどの特徴を有することから、非常時における発電や、冷暖房などにも活用できる、災害に強い工エネルギー源のひ

る非常用発電設備や冷暖房設備などの整備を進めるべきと考えるがどうか。

防災危機管理部長 LPガスは、長期間の保管でも品質が劣化しづらく、また、ガスボンベにより短い配管で家庭などに供給されるため災害時にも復旧が比較的早いなどの特徴を有することから、非常時における発電や、冷暖房などにも活用できる、災害に強い工エネルギー源のひ

きと考へるがどうか。

このため県では、市町村向けに作成している「災害時ににおける避難所運営等の手引き」において、LPガスの利用が可能な資機材の確保について促すとともに、LPガスを燃料とする発電設備や空調設備等の避難所への設置に取り組む市町村への財政支援も実施しているところです。

今後も、避難所における生活環境の向上に向け、災害による停電や都市ガスの供給断続時にも、LPガスを含めた多様なエネルギーを活用できる環境の整備を促進してまいります。

●県政や佐倉市・酒々井町のまちづくりに関する悩みごと、気軽にご相談ください!!

伊藤まさひろ

県議会議員
事務所

〒285-0811 佐倉市表町3-6-28
TEL.043-485-8019
FAX.043-486-1616

